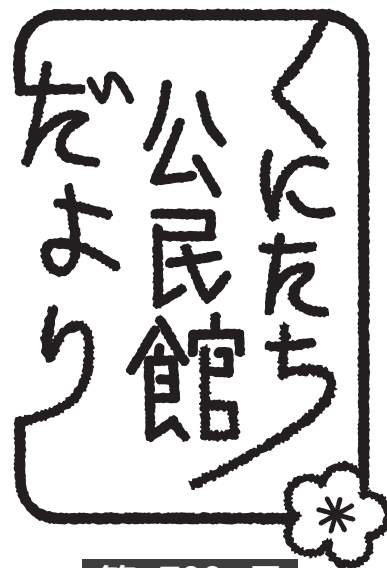


# 市民が守り育てて700号

## 記念特集座談会

公民館だよりは毎月、すべてのご家庭に配布されます。それでもまだ公民館に足を運んだことのない方々が多いのも現状です。どうすれば活動の魅力が伝えられるか、足りないものは何か、壁を越えるヒントを探るため、近ごろ参加の機会を得た3名の若いみなさんの率直な意見を、公民館だより編集研究委員がうかがいました。



第700号

2018年6月5日  
(平成30年)

発行

国立市公民館

〒186-0004

国立市中1-15-1

TEL 042-572-5141

FAX 042-573-0480

休館日：毎週月曜日

### 公民館のイメージは？

山本さん「国立市で生まれ育った大学生」図書室があるのと、「わいがや」があるくらいのイメージがなくて。中高生の学習支援「LABO☆くにスタ」の活動に参加して、公民館って人と人をつなぐ、いろんな交流の場のような役割があったんだということを、最近感じるようになりました。

岩本さん「国立市で生まれ育った高校生」私は、詩吟のサークルで利用した時、やっぱりなんかお年寄りの人が多いかな、というイメージが強くて。

山岸さん「二年前国立市に転居、子育てしながらグループ活動中」引越してすぐ、国立市役所に行く用事の時に保育つきの女性講座のポスターが目に入って。それ以来二年間ほど毎週利用しています

が、最初は公民館という存在を知りませんでした。専業主婦をしているとまとまって学習の機会が取れません。大学生や高校生だと身近な勉強が、大人になってしまうと自分からやらないとなかなかできない。でも、公民館は無料で気軽に参加できるのが、いいなと思います。

### 「公民館だより」を意識したことがある？

【山本】自分が聞きにいった講演会の記事などが載っている時は、その項目だけ見るんですけど、他はほとんど目を通したことがなくて。子どものころ新聞を読むのが好きだったので、その流れで、斜め読みでしたら小学生の頃からですかね。

【岩本】熟読することはなかったですけど、祖母と一緒に住んで

いるので、隣でちらっと見る程度なら、あったかな。

【山岸】この世に公民館があるって知ったのは国立市に来てからなんです。最初に参加した女性講座で公民館の歴史を習い、なるほど公民館っていうのは市民が勉強するためにあるのね、と。

女性講座がすごくよくて、保育つきで深く学べて、大学生気分がまた味わえちゃった、みたいな。それで、公民館がすごく身近になって、今子育てに関係のある講座だ

ったらぜひ行きたいです。ここで学べる機会があることを知ったので、どんな講座をやっているのか、公民館だよりは必ず目を通します。

### 社会の出来事や

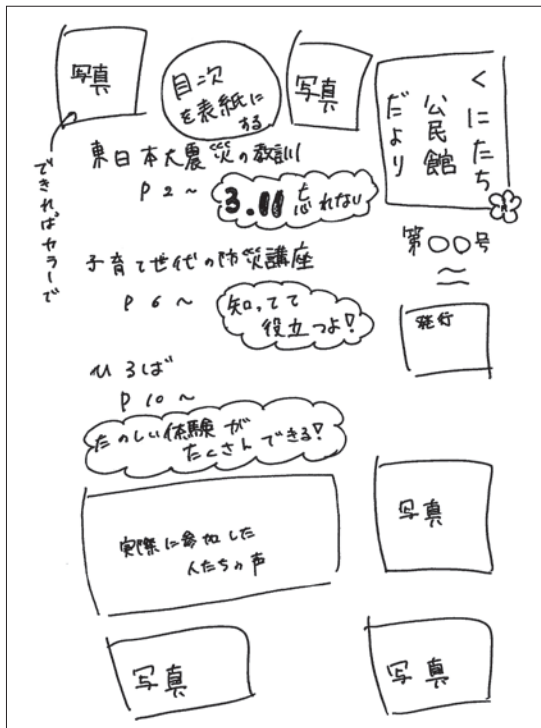
#### 問題の情報源は？

【山岸】公民館だよりは今まで読んでいたけれど、自分が興味のないものは飛ばして、なかなか毎回全部目を通すというのはいきません。情報はスマートフォン（スマホ）から、ネットニュースだとか、友達がシェアした記事だとか、その程度で、あとは興味を湧いたことは、これいいなと思ったら、それに関連して、ちょっと検索してみても、その記事を読むみたいなの、そんな感じですよ。

### 公民館だよりの見出しがスマホで見られたら？

【山岸】ヘッドラインがあったらいいですね。今の公民館だよりはちょっとわかりづらいかな。文字が多いので、パッと見て、見終えちゃうんです。見出しも本文も同じくらい文字でぎゅっと入って、昔の文集みたいな感じで、もっとキャッチーな言葉があって、「おもしろそう」と思ってから小





岩本さんのレイアウト案「最初のページを目次に」



「山岸」見づらいですね、全部の文字が大体同じなので。やっぱり見るのはタイトルだけです。タイトル見て、関心ありそうだなと思ったら中身を読む、その次に日時を見る、っていう。

【岩本】私も同じで、字が多くて新聞みたいな感じです。新聞とか

ほとんど読んだことないから、こういう書き方だと読むのが辛いなと思つて。それで、最初のページを目次にしちゃう感じもいかなと、読んできた679号を参考に、レイアウト案を作ってみました。内容を一つ一つ目次にして何ページからと入れて、例えば「子育て世帯の防災講座」だったら「知って役立つ」みたいなキャッチコピーをちよつと書き添えたり、写真とか表紙だけでもカラーにしたりすると、イメージが変わると思います。学校の勉強以外の情報はほとんどテレビ。ニュースはテレビを点けて流れていると、まあ見るかな。スマホではタイトルくらいで、今こんなのが世の中で炎上してるよ、とか。

【山本】今のものは一方的に与えられるものじゃなくて、我々も主体的に参加して作れるものなんだということ。いっぱい伝えたい情報があることがわかるのはメリットだと思つてますよ。ただ、例えば新聞でも、見出しは大きく『米中貿易摩擦』みたいな感じで、何がその項目で語られているのかわかるから、じゃあこれ読んでみようという気になるけれども、どうしてもこのタイトルがちよつと小さくて、何が書いてあるかわかりづらいときに、全部は目を通す気になれないです。僕が活動している「LABO☆くにスタ」の話でいえば、本当に届いて欲しい家庭では、じっくり読む余裕がないかもしれない、そういう余

裕のないところはどうやって情報を届けるかっていうのが、一つの課題なのかな。

SNS的な仕組みがあれば読みやすい？

【山岸】読む側としては、公民館だよりの文字数は少ない方が助かります。もっと知りたければ、個人的に動くと思つてですね。

例えば、講座に参加した人のブログの記事をきっかけに、もっと詳しい内容がわかったりするといいなと思つてますし、それが検索できたらいいと思つてます。

【山本】そうですね。それだったから見ると思います。

若者や子育て中でも講座に参加するには？

【山本】イメージだとどうしても中高年以上のお年寄りとか時間のある方が参加していて、若造がこのこ出て行っていいんだろうか、みたいな固定観念はどうしてもありましたね。

【山岸】講座の時間が夜七時から始まるとなると、やっぱり来られないかな。保育つきの講座があるとすごくチェックします。学生時代には当たり前だった学びが、今

【山本】座談会に参加した結果というのは興味があるので、見ると思います(笑)。

【司会】ふだんから公民館だよりに接している職員や私たち委員はどの講座も、どの内容もみんな知ってほしいと、ついつい盛りだくさんな記事になってしまいます。社会教育の原点を外さずに、いかに多くの人に利用してもらえるかが悩みの種です。その壁を今日は新鮮な視点で軽々と越えるようなご意見を、若いみなさまからうかがうことができました。公民館は市民が勉強するためにある、という頼もしい声もありました。今後の紙面作りにも活かせるか、職員とともに考えていきたいと思つています。今日はありがとうございました。

(敬称略 平成30年3月30日開催)

【山本】読みたいかなつた？

【山本】座談会に参加した結果というのに興味があるので、見ると思います(笑)。

は渴望している状態ですね。勉強や学びの場が限られているので、今から思うと学生つてすごくいいなあ、最新の情報とか、最新の機材とか、パソコンも最新だし。なくなつて初めて気づくんですよ。

「公民館だより」を



①	広報	市民に公民館事業（各種の講座・イベント等）のお知らせ、学習の場の情報を提供。また「ひろば」欄、「サークル訪問」など、市民と市民をつなぐメディア（媒体）等。
②	記録	事業の成果を記録。共有し蓄積されることで市民文化の歴史を形成等。
③	学習教材	記録が新たな公民館学習の学習教材となり、事業の継続性にも寄与等。

表1. 「だより」の役割と特質

他方、情報の送り手としての市民が、自己を表現する手段も、文章や絵画、音楽などに加え、映像、プレゼンテーション、創作ダンス、プログラミングなど多様化が進ん

でも利用者が増えています。それに伴い、情報収集や学習の方法にも大きな変化が見られます。

600号が発行された8年前には、若者の間でさえ物珍しかったスマートフォン（スマホ）は、その後急速に普及し、今ではシニア世代でも利用者が増えています。それに伴い、情報収集や学習の方法にも大きな変化が見られます。

「だより」は、その歴史の中で、他の定期刊行物との合併がたびたび議論となつていますが、独立発行に支えられた「だより」の役割や特質は、貴重な市民の財産になるもので、今後とも堅持、発展させていくことが強く望まれます。

「だより」は、その歴史の中で、他の定期刊行物との合併がたびたび議論となつていますが、独立発行に支えられた「だより」の役割や特質は、貴重な市民の財産になるもので、今後とも堅持、発展させていくことが強く望まれます。

今回の座談会を通じて、表紙の構成やQRコードなどを用いて、「だより」をインターネット上に届ける工夫や、講座参加者が書いたブログ記事や市民のSNS上

「落ちたの私だ」という議論が、実際に社会を動かしたことは記憶に新しいところです。

対面で行われる講座、討論、サークル活動と同様、インターネットでも、学び合いの様子やその蓄積を見ることが出来ます。「保育園落ちた」というブログ記事をきっかけにSNS上で展開された

インターネットには、場所・時間・費用などの障壁を引き下げることも、文章や写真、動画など多様な表現手段を手軽に利用できる特長があり、より幅広い市民に学びへの参加を促す可能性を秘めています。

今号では、若い人たちの「だより」の受け手としての率直な意見を座談会形式で聞き取りました。そこから見えてきたのは、スマホを中心にヘッドライン形式の表紙から詳細に入る情報収集の行動パターンでした。また、スマホをきっかけに\*ブログや\*\*SNSを活用する一方で、紙誌や図書、講座参加等も利用して、より深い情報収集や学習をする姿もうかがえました。

「だより」のこれからの、これらはどう活かせるか、職員とともに考えていきたいと思ひます。

のサークル活動を紹介し、より広く市民と市民をつなぐことへの示唆を得ることができました。

第16期公民館だより編集研究委員 井上恵子、川田幸生、隈井裕之（委員長）、佐藤節子、高木裕子（委員長）、鶴田美緒、西尾万樹、原田千智

※ブログ：個人がインターネット上に日常の出来事や自分の意見などを書き込むことのできる仕組み  
※SNS：個人同士でインターネット上に趣味のサークルなどの共同体を自由に作ることのできる仕組み

「公民館だより」の「これまで、これから」

第16期公民館だより編集研究委員 井上恵子、川田幸生、隈井裕之（委員長）、佐藤節子、高木裕子（委員長）、鶴田美緒、西尾万樹、原田千智

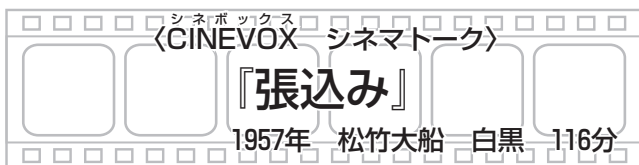
第16期公民館だより編集研究委員 井上恵子、川田幸生、隈井裕之（委員長）、佐藤節子、高木裕子（委員長）、鶴田美緒、西尾万樹、原田千智

第16期公民館だより編集研究委員 井上恵子、川田幸生、隈井裕之（委員長）、佐藤節子、高木裕子（委員長）、鶴田美緒、西尾万樹、原田千智

第16期公民館だより編集研究委員 井上恵子、川田幸生、隈井裕之（委員長）、佐藤節子、高木裕子（委員長）、鶴田美緒、西尾万樹、原田千智

第16期公民館だより編集研究委員 井上恵子、川田幸生、隈井裕之（委員長）、佐藤節子、高木裕子（委員長）、鶴田美緒、西尾万樹、原田千智

平成	西暦	月	「くにたち公民館だより」600号～700号のあゆみ 600号記念特集には、1956年創刊からのあゆみが詳しく掲載されています
22年	2010	2	「公民館だより」600号記念特集（『〈集約版〉Ⅶ』に収録） サークル訪問をまとめた冊子『サークルを訪ねて 2』発行
23年	2011	2	第13期公民館だより編集研究委員会研修実施
25年	2013	11	第29期国立市公民館運営審議会 「市報くにたち」、「くにたち市議会」など市の広報誌を統合することに反対する要望書を市長に提出
26年	2014	2	『くにたち公民館だより〈集約版〉Ⅶ』発行（600号収録）
27年	2015	1	タイトルデザインが新しくなる
		6	「国立市公民館60周年記念〈連載〉シリーズ・私と公民館」開始（全4回）
		10	第15期公民館だより編集研究委員会、第30期国立市公民館運営審議会のおのおの「公民館だより」についての意見書を市長、事務事業評価委員会に提出
		12	「60人の声—公民館60周年に寄せて—」連載開始（全6回）
28年	2016	1	事務事業評価委員会結果報告書「市報くにたち・公民館だよりの発行業務について」発行
29年	2017	10	『くにたち公民館だより〈集約版〉Ⅷ』発行
30年	2018	6	「公民館だより」700号記念特集



監督 野村芳太郎 原作 松本清張 撮影 橋本忍  
脚本 井上晴二 音楽 黛敏郎  
出演 高峰秀子、田村高廣、大木実、宮口精二、清水将夫、芦田伸介、高千穂ひづる、菅井きん ほか

松本清張の傑作短編小説を、名匠・野村芳太郎監督が緊張感溢れるドキュメンタリータッチで映画化した、サスペンス映画の名作。



逃亡中の強盗殺人犯の行方を追って、犯人のかつての恋人で今は平凡な主婦になっている女を見張りながら、犯人が現れるのをひたすら待つ二人の刑事の、一週間にわたる張り込みを描く。淡々と積み重ねられる細やかな日常描写の中で、克明に描き出されていく登場人物たちの心情が、高峰秀子をはじめとする俳優陣の好演とも相まって、名もなき市井の人々が抱える心の闇を鮮やかに映し出す。

〈シネマトーク〉「日本のミステリー映画について」  
北里 宇一郎 (脚本家)

上映終了後、脚本家の北里宇一郎さんに、日本のミステリー映画についてお話をうかがいます。

とき 6月24日(日) 昼2時～5時(開場昼1時)  
ところ 公民館 地下ホール 定員 85名(当日先着順)  
\*ご自由においでください。ただし、定員を超えた場合は入場を制限させていただきます。

## 第63回「くにたち市民文化祭」

開催期間が決まりました!

今年のくにたち市民文化祭の実行委員長と開催予定期間が決まりました。展示や発表、一緒に参加できるものなど今年も盛りだくさんです。詳しい日程や行事の内容については、公民館だより10月号等でお知らせします。

### ◆開催予定期間

平成30年10月28日(日)～12月9日(日)

### ◆次回実行委員会

とき 6月21日(木) 夜7時～  
ところ 公民館 地下ホール  
問合先 公民館 ☎ (572) 5 1 4 1



### 〈環境講座〉

## プラスチックの行方 ～家庭から海洋へ、そして食卓へ～



講師 高田 秀重 (東京農工大学)

私たちの生活の中にはプラスチック製品があふれています。便利なプラスチックは、いまや世界中で毎日大量廃棄され、海洋汚染につながっています。そして巡って私たちが食べるものに影響を与えています。

プラスチックはどんな特性を持ち、どんなかたちで汚染につながっていくのでしょうか。

今回、廃棄されたプラスチックの海洋汚染を研究されている高田さんから汚染の実態についてお話をいただき、私たちが出来る事など、考える機会にしたいと思います。

とき 6月23日(土) 昼2時～4時  
ところ 公民館 3階講座室  
定員 35名(申込先着順)  
申込先 6月7日(木) 朝9時～  
公民館 ☎ (572) 5 1 4 1



### 〈朗読講座〉

## ことばを楽しむ

講師 石井 和子 (フリーアナウンサー、気象予報士、日本気象予報士会顧問、白山朗読の会主催)

この講座では、口のうごきや腹式呼吸など声を出す練習からはじめます。そして、作品のことば・文章が表しているシーンや心情を考えながら、また自分の中の気持ちとイメージを広げながら、それを聞き手に伝える朗読の表現方法を学んでいきます。

作品のことばひとつひとつが持つ美しい音・リズムを、みなさんも体で味わってみませんか。テキストは童話や時代物など、親しみやすいものをご用意しています。最近あまり大きな口を開けて話していないな……、もっと誰かにことばを伝えてみたいな……など、初心者の方もぜひご参加ください。講座が終了したあとは、「くにたち市民文化祭」開催期間中(11月～12月)に発表会を予定しています。

テキスト『一房の葡萄』有島武郎  
『神無月』宮部みゆき  
\*テキストは印刷したものをこちらでご用意します。

とき 7月6・13・20・27日、9月7・14・21・28日、  
10月5・12日(全10回)  
いずれも金曜日、昼2時～4時  
ところ 公民館 地下ホール  
定員 20名(申込先着順、初めて参加される方優先、原則全10回参加できる方)  
申込先 6月12日(火) 朝9時～  
公民館 ☎ (572) 5 1 4 1



〈人権講座〉

差別と排除・ヘイトスピーチを考える

在日韓国・朝鮮人に対するヘイトスピーチは日本の朝鮮植民地支配下はもちろん戦後も行われ、2000年代半ばから街宣デモや嫌韓本、インターネット匿名中傷に形を変え、広がり続けています。2016年6月いわゆるヘイトスピーチ解消法が施行されましたが、理念法で禁止条項もなく、今後実効性のある改善が指摘されています。講座では日本の差別の現状、解消法と実効的施策のお話をうかがいます。

回	月日	テーマ	講師
1	7月1日(日)	日本での差別と排除の現状	安田 浩一 (ジャーナリスト)
2	7月28日(土)	ヘイトスピーチ解消法と人種差別撤廃条例	師岡 康子 (弁護士)

いずれも昼2時～4時

ところ 公民館 地下ホール 定員 50名(申込先着順)  
 申込先 6月7日(木)朝9時～  
 公民館☎(572)5141

〈くにたちブッククラブ 幻影を追う、記憶をたどる〉  
**高橋源一郎「ミヤザワケンジ・グレーテストヒッツ」**  
 (集英社文庫)

講師 榎本 正樹(現代日本文学)

とき 6月14日(木)夜7時半～9時半  
 ところ 公民館 3階講座室  
 申込先 公民館☎(572)5141

\*この講座はあらかじめ作品を読んできて、参加者が読み出しあいます。そのあと講師のお話を聞きます。

〈図書室のつどい〉

**暴露の世紀を生き抜くために**  
 —サイバー攻撃から身を守る—

お話 土屋 大洋<sup>ちひろ</sup>(慶應義塾大学)

世界各地でサイバー攻撃、サイバー犯罪が行われるようになり、その数と規模は増加傾向にあります。日本でも日本年金機構や仮想通貨を狙ったサイバー攻撃は記憶に新しいところです。情報通信技術(IT)の加速により世界中の人がインターネットを使い、情報は広まり、伝わりとともに、漏れるという危険も大きくなっています。

今回、サイバーセキュリティの第一人者である土屋さんに、国家を揺るがす内容から個人のプライバシーまで狙われている現実についてお話いただきます。

〈土屋さんの著書〉

『暴露の世紀』(角川新書)、『サイバーセキュリティと国際政治』(千倉書房)、『サイバー・テロ 日米 vs. 中国』(文春新書)他

とき 6月30日(土)昼2時～4時  
 ところ 公民館 3階講座室 定員 35名(当日先着順)  
 \*ご自由においでください。ただし、定員を超えた場合は入場を制限させていただきます。

〈親子で遊ぼう・考えよう〉

**身近な素材でコロコロたまごをつかって遊ぼう!**

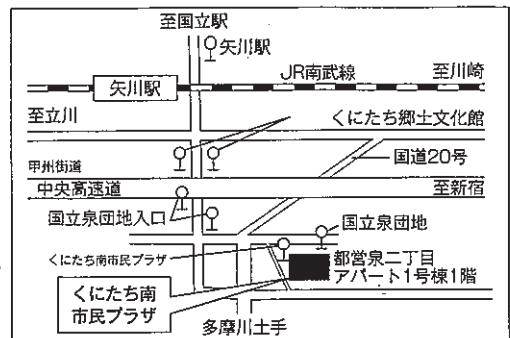
羊毛フェルトやアルミホイルをコロコロ、トントンしながら世界で一つの丸いたまごを作ってみましょう。

親子で夢中になって楽しめます。小さな子も楽しめる簡単な工程です。作ったあとは、たまごを使ってみんなで楽しくあそびましょう。

講師 山田 修平  
 (NPO法人東京学芸大こども未来研究所)

とき 7月1日(日)朝10時～12時  
 ところ 南市民プラザ 多目的ホール  
 持ち物 ハンドタオル、飲み物、動きやすい服装  
 対象・定員 子ども(3歳以上～小学校低学年)と保護者16組(申込先着順)  
 申込先 6月8日(金)朝9時～  
 公民館☎(572)5141

■南市民プラザへのアクセス



\*JR南武線矢川駅より徒歩15分  
 \*立川バス:「国立泉団地」バス停下車1分

**母と娘のむずかしさ**

講師 大美賀 直子(精神保健福祉士、産業カウンセラー・All About「ストレス」ガイド)

「母の期待に応えなければ、と思うと苦しい……」「娘と、どう接したらいいのかわからない……」こういった悩みを抱えた女性は少なくないでしょう。

母が娘に、娘が母に対して感じる難しさの背景には、同性同士であるがゆえの心理的な距離の近さ、お互いへの期待の大きさ、その期待がかなわない切なさなど、さまざまなものがあります。

こうした問題の背景を正しく理解し、“ほどよい”家族関係を築ききっかけにしたいと思います。

とき 6月29日、7月6日、13日(全3回、いずれも金曜日)朝10時～12時  
 ところ 公民館 3階集会室 定員 女性20名(年齢不問)  
 申込先 6月8日(金)朝9時～  
 公民館☎(572)5141



## 初心者 山部 参加者募集

### 青年講座 「目指せ、山料理！」

最近の山ブームに乗り遅れた方、山の知識がない、山の装備がわからない、山仲間がいない、そんな人の山のきっかけになり初心者でも山で楽しみを見つけれられる部を目指します。目標は山頂でおいしい料理を作ってみんなで食べる。至福の時を一緒に味わい楽しみましょう。

皆様の参加をお待ちしています。

**1回目 6月23日(土) 昼3時～5時**  
登山準備会(登山計画、メニュー、持ち物などについての話し合い)

講師 **林 雄三**(青年室スタッフ)

**2回目 夏山へ。日程もみなさんと決めていきます。**  
ところ 公民館 1階青年室 ※2回目は屋外  
対象 高校生～30歳代の方まで 定員 10名  
申込先 6月8日(金)朝9時～  
公民館 ☎(572) 5141

### 〈公民館の窓〉 親子で楽しい料理

公民館では「男性の料理教室」で特別企画を開催しています。それは親子で春休みや夏休み期間中、一緒に料理をして楽しいひとときを過ごす機会です。

普段仕事が忙しいお父さん方が子ども達と力を合わせて、メインの料理、デザートに腕を振る楽しい時間を共有しています。

また4台のテーブル毎にグループを作って調理するわけですが、グループ内でお父さん達同士、子ども同士で協力し合いながら作業を進めま



上手に出来たかな

す。講師も各グループの質問に答えたり、手本を示したりと大忙しです。実習の後は作った料理を一緒に食べながら参加者からの感想を聞かせていただきます。夏休みにも楽しい企画を考えています。(H.N.)是非ご参加ください。

## 平成29年度 公民館の施設利用状況について

公民館は社会教育施設として、市民等で構成されるグループや団体に会場を貸し出しています。活動目的や人数に応じて、大・中・小の集会室、講座室、ピアノのあるホールと音楽室、調理のできる実習室、着付けや茶道のできる和室の8つの部屋があります。

平成29年度のサークルや団体の利用は5,512回、延べ56,927人に利用されました。公民館主催事業を合わせると6,287回、延べ72,779人となりました。

### ■平成29年度 時間帯別会場利用率

(単位：%)

会場(定員)	ホール(85名)	音楽室(20名)	集会室(30名)	講座室(35名)	中集会室(20名)	小集会室(10名)	和室(20名)	実習室(10名)
午前	93.3	82.9	78.9	80.6	84.3	83.0	72.5	73.2
午後	94.9	93.2	88.7	85.5	88.1	82.1	78.3	87.1
夜間	95.8	84.0	60.9	65.8	66.8	72.7	51.9	44.5

(注) 利用率の算出処理上1日の利用時間を、午前・午後・夜間の3区分に整理。1区分に複数回の利用があっても1回分の利用とみなして利用回数を再算出し、この算出数を年間開館数で割り、利用率を算出している。

### 公民館運営審議会報告

5月8日(火) 第18回定例会を開催。委員12名、館長、職員2名出席。傍聴者6名。

#### 前回事務録確認

#### 報告事項

○委員交替  
宮脇委員に代わり、5月より若林委員が新メンバーに。

○公民館だより編集研究委員会  
次号の6月号が700号なので、特集ページののための座談会を開催した。その記録を掲載予定。

○社会教育委員の会  
生涯学習振興計画について話し合われた。ブロック研修会を10月に行う。

○東京都公民館連絡協議会  
4月20日都公連総会が西東京市柳沢公民館であり、職員2名、公運審委員4名が参加した。

○協議事項

○傍聴者発言について  
公運審規則では必要事項は教育委員会承認を受け、定める規定となり、規則改正は難しく、その都度委員に諮り対処したいとの館長提案あり。

○今年度主催事業の方針と予算  
前・後期各4回、合計8回の連続憲法講座を実施。予算は、L A B Oにスタ謝礼の増額。

○ふりかえる会のふりかえり  
報告集の予算は7万を計上。グループ起こしを参考に、内容については次回また検討する。

次回定例会は6月12日(火)夜7時15分から。傍聴歓迎。(龍野)



# ひるば

(8ページにもあります)



緑のシャワーを浴びて  
撮影 加藤興一さん(東)

## テニスクラブ会員募集

DMテニスでは主に土日の午前中にゲームを楽しむ仲間を募集中です。男女を問わず、特に40〜50代で市内在住の方歓迎です。お気軽に体験にお越し下さい。

日時 主に土日朝10時〜12時  
場所 谷保、矢川、広場コート他  
連絡先 佐藤(574) 9559

## 国立剣道連盟小中学生会員募集

剣道で心身を鍛えよう!!  
随時受付(稽古時間内)  
初心者歓迎

稽古日 日曜日朝9時〜12時  
水曜日夜7時〜9時  
土曜日夜7時〜9時(成人)  
場所 第五小学校 体育館  
連絡先 樋口(575) 7599

## プール・NAVIの会員募集

泳げなくても大丈夫!顔を水につけません。プールでアクアビクスをします。水中は体重が1/2になるので膝・腰の痛む方におすすめてです。連絡お待ちしています。

日時 第一、三金曜日昼12時半〜  
場所 総合体育館 プール  
連絡先 伊藤(576) 2660

## 「さくら太極拳」会員募集

24・48式を中心に、年齢問わず楽しく太極拳をしています。32式剣のレッスンも始まり、充実度アップ!太極拳で心身に健康になりましょう。

日時 毎週金曜日昼3時〜5時半  
場所 総合体育館 第3体育室  
連絡先 山田(090) 3439

## グリーンコーラス会員募集

発声の基礎を学びながら心ひとつに楽しく合唱を体感しています。来年4月の発表会に向けて6月より新曲練習開始。この機会に始めましょう。男女共初心者大歓迎。

日時 毎週水曜日朝10時〜  
場所 公民館 音楽室、ホール  
連絡先 芝野(577) 1100

## 国立カントービレ

創立七周年の混声合唱団です。声楽科出身の先生のもと、春のコンサートに向け練習しています。笑いの絶えない元気な会です。楽譜の読めない方、男性も大歓迎。

日時 第一、三金曜日1時〜3時  
場所 矢川集会所  
連絡先 三浦(572) 1028

## スペイン語会話メンバー募集

HOLA AMIGOS南米の文化に触れながらスペイン語を学んでみませんか。基本会話から役立つフレーズなどを楽しく学んでいきましょう。

日時 毎週金曜日朝10時〜11時半  
場所 公民館  
連絡先 村内(080) 3504

## 絵画サークル「美」

講師も会費もなしで、各自で画材を用意して、自由に描きます。経験を問わず、個性を尊重して、活動してゆきたいと思えます。参加時間・見学も自由です。

日時 毎月第一、三土曜日  
場所 中地域防災センター  
連絡先 渡辺(080) 4271

## 「木彫会」会員募集

心やすらぐ小さなお地藏さまなど、清々しいヒノキの香りに包まれてやさしい彫刻づくりを始めてみませんか。キホンのキから学べますから経験不要。1回2千500円。

日時 毎月2回火曜日昼1時半〜  
場所 東地域防災センター  
連絡先 浅葉(090) 9373

## 国立絵画グループ会員募集

油、水彩、パステル、人物、静物、風景等楽しく描く事、描きたい方、絵の好きな方は非体験して下さい。初心者歓迎。月二回芸大出身先生の指導有り。

日時 毎週木曜日昼1時〜5時  
場所 公民館  
連絡先 中村(576) 2918

## 「ひらや照らす」スタッフ募集

ひらや照らすは昨年7月開設した市民の出会いと交流の居場所です。現在、開所日は週3日ですが「いつ行っても開いている」居場所を目指しスタッフを募集します。

日時 毎週木金土朝10時〜夕4時  
場所 福祉会館東隣3軒目  
連絡先 大井(090) 6949

## 社交ダンスアリス会員募集

半年前に誕生した新しいサークルです。現在ワルツ・ルンバを中心に基礎から練習しています。指導は、プロダンス教師です。基本中心ですので初心者・中級者歓迎。

日時 日曜日朝10時〜2時間  
場所 公民館 地下ホール  
連絡先 白木(090) 5312

## 「太陽と昴の会」会員募集

発達障害をもつ当事者・家族・支援者の集まりです。同じ悩みをもった仲間と安心して語り合えます。そうかな?と不安な方も大歓迎。相談会や学習会もしています。お問い合わせください。

場所 お問い合わせください  
連絡先 鈴木(080) 3443

## 中学生必見!高校選びセミナー

中学生と保護者のための高校選び応援セミナーを行います。現役高校生がそのままの高校生活を語ります。後悔しない中学校生活が見えてきます。毎年大好評!

日時 6月10日(日)昼2時〜4時  
場所 北多摩西教育会館4階  
連絡先 岸岡(090) 0914

## 水彩画「パレット」作品展

第13回サークル会員による作品展を開催致します。今回も日頃楽しみながら描いている作品を、展示しますのでご覧下さい。

日時 6月16日(土)〜23日(土) 朝10時〜夕5時  
場所 公民館 市民交流ロビー  
連絡先 鈮持(576) 2495

## ダンスパーティー鹿鳴会へお誘い

本会は社交ダンスを通じて健康寿命の増進と親睦、元気に楽しくをモットーにしています。国立の方気軽遊びにいらして下さい。踊れるスタッフがお待ちしています。

日時 6月16日(土)昼1時15分〜  
場所 福祉会館 大ホール  
連絡先 細田(576) 1367

## 今月の公民館 (6月、7月初)

\*印は参加自由、他は事前申込みが必要です。

- 14日(木) 夜 くにたちブッククラブ  
『ミヤザワケンジ・グレーテストヒッツ』
- 23日(土) 昼～青年講座  
「初心者 山部 目指せ、山料理！」
- 23日(土) 昼 環境講座 「プラスチックの行方  
～家庭から海洋へ、そして食卓へ～」
- 24日(日) 昼\* CINEVOX シネマトーク  
『張込み』
- 29日(金) 朝～母と娘のむすかしさ
- 30日(土) 昼\* 図書室のつどい  
「暴露の世紀を生き抜くために  
—サイバー攻撃から身を守る—」
- 7月1日(日) 朝 親子で遊ぼう・考えよう
- 1日(日) 昼～人権講座  
「差別と排除・ヘイトスピーチを考える」
- 6日(金) 昼～朗読講座「ことばを楽しむ」

## ひろば

(7ページにもあります)



シジュウカラの巣立ち

撮影 加藤興一さん(東)

### ふろしき教室 かいゆう主催

風呂敷の基本から応用まで実用的な使い方を、「ふろしき王子」こと横山功さんに学びます。参加費千円(茶菓子付)要電話予約。風呂敷大100cm角と小50cm角を持参。日時 6月30日(土)昼2時～3時 場所 たまりば宙(谷保駅歩1分) 連絡先 たまりば宙(83)04443

### \*「ひろば」

#### 写真募集中\*

国立の風景や行事、自然などの写真を募集しています。ご協力いただける方は公民館までご連絡ください。

### \*「ひろば」欄投稿規定\*

市内の団体・グループ活動のお知らせの場です。原稿の締切りは、掲載希望月の前月7日の午後5時です(7日が月曜日の場合は、翌日の8日まで)。原則として掲載月の7日から翌月6日までのお知らせを掲載します。会員登録は6カ月に一回掲載することができ、紙面の都合により翌月掲載となることがありますので、ご了承ください。

### 文章表現の会 (サークル訪問321)

「出張に行っている。」世話役の森本さんは、そう表現した。

毎月第二土曜の朝10時、公民館に、このひと月に書き上げた八百字程の文章を、各自が持ち寄る。

「あなただけにしか書けない文章を、会のメンバーに披露して、感想をしろ。こうして文章と表現を勉強しています。」と募集記事にある通り、文章を一人ずつ読み上げ、その都度、他の会員が質問や感想を述べていく。

八百字の内容は、うっかりミス、IT音痴ぶりを嘆くものであったり、文学散歩やスポーツイベントでの気づき、人間観察など多種多彩。他方、質問や感想は、誤記や表現技法の素敵な指摘か、と思いきやさにあらず、ほとんどが同情や励まし、感嘆や応援だったりする。後で聞くと、過去には厳しいコメントに「何クソ」と思ったこともあったそうだ。

「文章表現の会」は、公民館が主催した文章表現講座の参加者が自主的に立ち上げたサークルで、20年の歴史がある。当初は、表現することによる日常からの脱却を旨としていたが、今は、書き記し

たお互いの日常を通じて、一人ひとりが新しい気づきを得ていく会のようなのだ。

翌月の会に何を書こうかと日々考え、書き上げた文章を推敲する時間は、自分自身や暮らしを見つめ直したり、ポケ防止に役立てたりなど、それぞれに大切な、そして楽しいひと時なのだそう。

10名ほどの会員には、発足当初からの方も、半年前に入られたばかりの方もいる。時に文学散歩や食事会を共にするという会員を「兄弟みたいな関係」と森本さんは言う。「出張」には、会員のまま鬼籍に入った仲間たちへの、敬愛と哀惜が入り混じった複雑な気持ちが入り込められているのだろう。

〈文・写真 隈井 裕之〉



書く、聞く、語るを楽しむ

<https://bunshouhyougen.wordpress.com>

